

## 一般廃棄物処理基本計画 施策の体系「目標・施策・取組」(案)

## ○ 目標「循環型ごみ処理システムの推進」

施策	取組
1 効率的で安定した中間処理体制の確保	(1) ごみ受入体制の拡充 (2) 安定稼働の確保 (3) 不適正搬入防止対策 (4) 計画的な施設整備の推進 (5) ごみ処理技術の動向の把握
2 環境負荷の低減	(1) 環境保全対策 (2) 環境マネジメントシステムの活用
3 地球温暖化防止対策の推進	(1) 熱エネルギーの一層の有効利用 (2) 地球温暖化防止対策への適切な対応 (3) その他の環境への取組(緑化、太陽光発電、雨水利用等)
4 最終処分場の延命化	(1) ごみ処理過程での資源回収 (2) 焼却灰の資源化 (3) 破碎処理残さの埋立処分量削減
5 災害対策の強化	(1) 廃棄物処理施設の強靱化 (2) 地域防災への貢献

## 施策・取組の主な変更点

計画の目標は、経営計画の基本方針に沿って「循環型ごみ処理システムの推進」とする。

改定計画では、現行計画の施策体系や取組を参考としつつ、国や都の施策や東日本大震災後の社会環境の変化を踏まえ策定することとする。

現行計画からの施策・取組の変更点は、以下のとおりである。

現行計画「施策1 効率的で安定した中間処理体制の確保」の取組である「中間処理を担う人材の育成」と「運転管理等業務委託の推進」については、経営計画の取組事項のため削除する。新たに水銀含有廃棄物対策の取組として、「不適正搬入防止対策」を加える。

現行計画「施策4 資源回収の徹底」は削除し、その取組である「ごみ処理過程での資源の選別回収」と「灰処理過程での資源回収」については、新たな「施策4 最終処分場の延命化」の取組の中に加える。

現行計画の「最終処分場の延命化」の取組である「焼却灰の全量処理」については、熔融処理の計画見直しにより、新たな取組を「焼却灰の資源化」とし、その中の取組内容に「灰処理過程での資源回収」を加える。

東日本大震災以降の災害対策への意識の高まり等を踏まえ、新たに「施策5 災害対策の強化」を加え「廃棄物処理施設の強靱化」と「地域防災への貢献」を新たな取組とする。

# 施策の体系「目標・施策・取組」(現行計画修正版)

## 目標 「循環型ごみ処理システムの推進」

### 施策

### 取組

1 効率的で安定した中間処理体制の確保

(1) ごみ受入体制の拡充

(2) 安定稼働の確保

~~(3) 中間処理を担う人材の育成~~

~~(4) 運転管理等業務委託の推進~~

(3) 不適正搬入防止対策

~~(5)~~ (4) 計画的な施設整備の推進

~~(6)~~ (5) ごみ処理技術の動向の把握

経営計画の取組事項のため削除する。

経営計画の取組事項のため削除する。

水銀含有廃棄物対策として新たな取組項目とする。

2 環境負荷の低減

(1) 環境保全対策

(2) 環境マネジメントシステムの活用

3 地球温暖化防止対策の推進

(1) 熱エネルギーの一層の有効利用

(2) 地球温暖化防止対策への適切な対応

(3) その他の環境への取組  
(緑化、~~風力~~太陽光発電、雨水利用等)

施策4の「最終処分場の延命化」の取組項目(1)「ごみ処理過程での資源回収」とする。

~~4~~ 資源回収の徹底

~~(1) ごみ処理過程での資源の選別回収~~

~~(2) 灰処理過程での資源回収~~

施策4の「最終処分場の延命化」の取組(2)「焼却灰の資源化」の中の取組とする。

~~5~~ 4 最終処分場の延命化

(1) ごみ処理過程での資源回収

~~(1) 焼却灰の全量処理(2)焼却灰の資源化  
(主灰の全量溶融・飛灰の脱塩処理等)~~

~~(2)~~ (3) 破碎処理残さの埋立処分量削減

溶融処理の見直しにより(2)「焼却灰の資源化」を新たな取組とする。

5 災害対策の強化

(1) 廃棄物処理施設の強靱化

(2) 地域防災への貢献

「災害対策の強化」を新たに施策5とし、(1)「廃棄物処理施設の強靱化」と(2)「地域防災への貢献」を新たな取組とする。